

振興作物

白ねぎの栽培管理（播種～育苗）

●播種準備

白ねぎは定植まで専用のポット「チエーンポット」（264穴）で約60日間育苗を行います。種子は10aあたり約21,000粒程度が必要です。

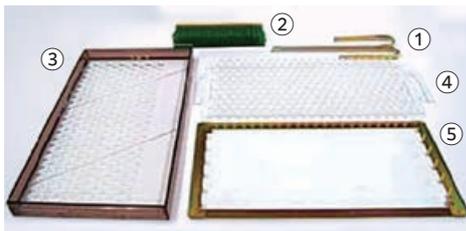
水稲用の苗箱で育苗を行ないましょう。水稲用の苗箱は10aあたり約40枚必要となります。育苗期間が長いので、ねぎ専用の育苗培土を使用しましょう。

●播種

2月下旬から3月中旬にチエーンポットへ1穴あたり2粒を播種します。

※播種機についてはJAにて貸し出しを行っています。

播種5点セット



- ①展開申1組
- ②土詰ブラシ1本
- ③ポットシーダー1台
- ④ポットプレート1台
- ⑤展開枠5台

発芽適温は15～25℃のため、播種後はハウスまたはトンネルで育苗し、発芽ま

では保温資材をべたがけし、温度を確保しましょう。

※播種後の地温が27℃を超える場合は発芽不良になりやすいため注意しましょう。

●発芽後の管理

生育適温は日中15℃～20℃、夜間10℃程度が適温になります。（最高30℃、最低5℃）

夜温の確保と日中の換気不足による苗やけに注意しましょう。

また、冬期に育苗する場合ハウスの外側に近い苗は気温差により生育が劣りやすいため、生育差が出る場合は苗の位置の入れ替えを行ないましょう。

●かん水

播種直後のかん水は、苗1枚あたり約2ℓを2回に分け行ないましょう。（しっかりとみ込んでから2回目のかん水を行ないましょう。）

その後のかん水は、表面が乾かない程度に行ないます。過湿は発芽不良の原因となるため、かん水過多に注意しましょう。また、定植の1週間～10日前から徐々に

かん水が多すぎる場合の状況

- ・苗箱表面にカビやコケが生える
- ・苗箱の中心付近が生育不良となる
- ・苗が軟弱徒長する

かん水が少ない場合の状況

- ・葉先枯れが起こる
- ・苗箱の周囲部分が生育不良となる
- ・葉のつやがなくなり黒ずんだ色となる

かん水量を少なくし、葉色が薄い場合は、かん水時に液肥を適宜施用しましょう。

●苗の剪葉

苗の曲がりや防止し、定植作業をスムーズに行なうため、3回を目安に苗の葉をカットします。

剪葉のタイミングが遅れると倒伏し剪葉しにくくなるので、注意が必要です。

苗の定植時期は4月下旬から5月中旬頃となります。

剪葉の実施時期と草丈の目安

剪葉回数	1回目	2回目	3回目
育苗日数	35～40日	40～45日	50日～
剪葉前草丈	14～16cm	16～18cm	18～20cm
剪葉後草丈	12cm	15cm	15cm

春播き野菜の栽培管理

（春播き野菜の播種・育苗管理）
2月以降は、春まき野菜の播種時期となります。

播種・育苗のポイントを押さえながら管理を行ないましょう。

●直播き栽培に適した品目

にんじん・だいこん・こまつな・しゅんぎくなど

●育苗・移植栽培に適した品目
キャベツ・ブロッコリー・レタスなど

●直播き栽培のポイント

水管理 直播き栽培では、発芽するまでこまめにかん水を行ないましょう。（※特ににんじんでは、種子が乾燥すると発芽率が低下するため、過乾燥に注意しながらの管理が重要になります。）

●育苗・移植栽培でのポイント

水管理 水分が多すぎると軟弱な苗になりやすいため、土壌表面が乾燥しない程度の水分量を目安としましょう。また、かん水は基本午前中に行ないましょう。（夜間に水分が多いと急速に伸長し軟弱徒長を起こしやすくなるためです。）

温度管理 栽培品目ごとの発芽適温や育苗適温を確認し、こまめな温度管理を行ないましょう。特に、夜間は気温が下がりますので、発芽や育苗の温度を確保できない場合は、播種床を不織布やビニールのトンネルで覆い、温度を確保しましょう。（※トンネルをする場合は、日中の高温時には換気を行ないましょう。）

育苗場所 日光の当たらない場所では軟弱徒長しやすくなるため、日当たり・風通しの良い場所を選びましょう。また、地面への直置きは苗底部分の風通しが悪くなり、蒸れや根張り不良の原因になるため、ブロックやたる木で下部分を浮かし、風通しを良くして、育苗を行ないましょう。

地域の情報をお届け!

三次トピックス

24期生 農業塾「あすなろう塾」

JAひろしま三次地域の農業塾「あすなろう塾」が11月12日、最後の講義を終え、24期生9人が巣立ちました。農業塾は管内の農業を志す定年退職者などが農業生産や経営について基礎から学び、塾生同士の親睦を深めながら技術や知識を習得しています。今期は野菜、花、加工品など直売所の栽培や販売の基本を学ぶ「短期コース(全5回)」と、短期コースに加え鳥獣被害対策や農業簿記、土壌診断などの専門知識を学ぶ「専門コース(全10回)」の2コースを開講。これまでに、24期生を含む480人が修了しそれぞれの地域で、塾での経験を活かしながら、経営規模や条件に即した農業に取り組んでいます。

最後の講義では、塾生一人ひとりが、10回のカリキュラムを振り返り、今後の挑戦目標や営業計画書を作成。塾生は「年間を通して安定した出荷に組みたい」「農業塾で土づくりの大切さが分かった。今後は土壌診断結果に基づいた適正施肥に取り組みたい」と抱負を話しました。



▲閉講式を終えた塾生



▲受賞した生産者のみなさん

JAひろしま三次地域は生産者の所得増大に向け、「あきだわら」や「じのきらめき」などの多収穫米の複数年契約栽培に力を入れています。中食・外食等を扱う企業との結び付きを強め、市場相場に左右されにくい固定価格による生産者の経営安定を目指します。

同JAでは平成29年から「あきだわら」を試験栽培として導入。JA全農ひろしまとの連携により、3戸の生産者で約5.3haの栽培から実需者に向けた業務用米の生産・出荷として取り組みをスタート。生産者数、栽培面積は年々増加し令和6年は約14.5haで45戸の生産者が栽培しました。

11月26日には同JA三次農協会館で次年度の栽培に向けた作付提案、販売先の担当者による研修会が行なわれ、参加者からは実需者との繋がりの重要性を再認識しました。また、令和6年産の多収穫米優秀生産者表彰を行ない、5戸の生産者を表彰しました。JAは今後も、大型農家や農業法人を中心に多収穫米の複数年契約栽培を拡大していく計画です。

多収穫米の複数年契約栽培 更なる生産拡大へ



▲振る舞われたそば

この日の利用者16人の目の前で実演され、打ちたてのそばが振る舞われました。利用者は「打ち立てのそばはのどごしが良くおいしい。毎年楽しみにしている」と笑顔で話されました。



▲手打ちそばの実演をする阿賀さん

やすらぎ館利用者へ そば振る舞い

11月25日、三次デイサービスセンターやすらぎ館の利用者へ手打ちそばが振る舞われました。

この企画は、利用者へ打ちたてのそばを楽しんでもらおうと、5年前から三次市西河内町の阿賀幸三さんが手打ちそばの実演を行なっています。



▲調理する部員

JA女性部三次地区本部は11月下旬から12月中旬にかけて、JA家の光おせち料理教室を19支部23会場で開催しました。おせち料理教室は、(一社)家の光協会が発行する雑誌「家の光」の記事活用として開催し、「エビマヨ焼き」や「たきごぼうの竜田揚げ」「ローストビーフ」など8品を料理。参加した部員は「お正月に向けて参考になった。手作りおせち料理で新年を迎えたい」と笑顔で話しました。

新年は手作りおせちで JA家の光おせち料理教室

農業体験活動の発表の場

JAひろしま三次地域「かべ新聞コンクール」

JAひろしま三次地域では、次世代を担う子どもたちに、食と農、いのちの大切さを理解してもらうことを目的とした、農業体験活動「ちゃぐりんキッズクラブ」を今年度も管内で開催しています。

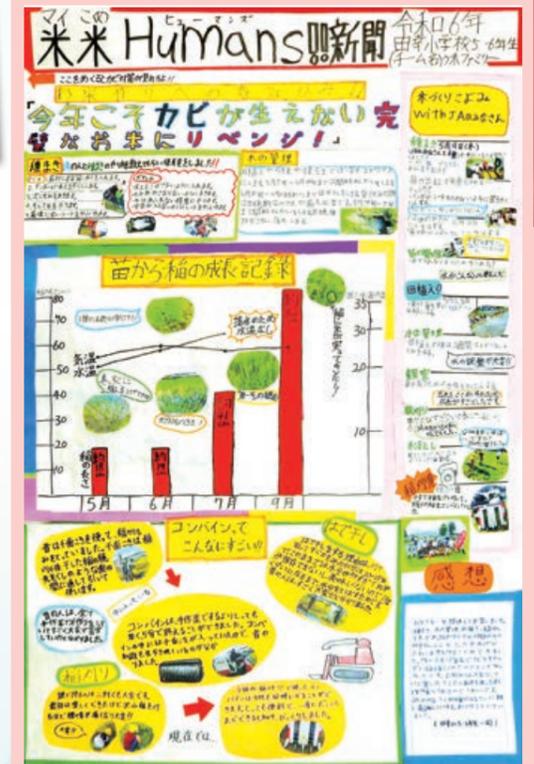
また、平成23年度から、子どもたちの活動の成果の発表の場として、JAひろしま三次地域独自の「かべ新聞コンクール」を開催し、今年は市内の小学校5校から15点の応募がありました。

作品は、三次市教育委員会、JA女性部三次地区本部、JA青壮年連盟三次地区本部、JAひろしま三次地域で審査会を行ない、JAひろしま三次地域ふるさと祭のステージで表彰式を行ないました。受賞した児童は「稲刈り、田植えなどの農業体験は大変だった。みんなで作ったかべ新聞が入賞して嬉しい」と受賞の喜びを話しました。



JAひろしま三次ちゃぐりん大賞

みらさか小学校 3年生



最優秀作品賞

田幸小学校 5・6年生

審査員特別賞

酒河小学校 4年生2班

三次小学校 5年生4・5班

布野小学校 6年生



最優秀作品賞

田幸小学校 5・6年生

JAひろしま三次ちゃぐりん大賞

みらさか小学校 3年生

審査員特別賞

酒河小学校 4年生2班

三次小学校 5年生4・5班

布野小学校 6年生

おめでとうございます。

農業塾

あすなろう塾

令和7年度 塾生募集!!

三次地域の農産物の栽培・加工・販売のノウハウを学び、産直（JA交流広場「とれたて元気市」）や市場などへ農産物を販売してみませんか。

短期コース

令和7年4月～7月
平日半日研修 全5回
受講料 5,000円
座学や農業の現地研修による野菜、花卉、果樹の基礎知識研修を実施

専門コース

令和7年4月～11月
平日半日研修 全10回
受講料 10,000円
前半は短期コースと同様の内容を学び、後半では秋播き野菜の栽培や土壌診断営農計画作成、経理などの基礎研修を実施。

- 募集締切：令和7年3月7日（金）
- 開講日は4月中旬を予定しています。
- ※新規塾生募集説明会開催（2月中旬頃）予定

【お問合せ先】

JAひろしま三次地域三次営農経済センター Tel.0824-66-3876
または 各支店、営農指導員まで



JAグリーンみよしからきのご栽培講習会のお知らせ

美味しい椎茸やナメタケなどを作るコツを知りたい、植菌から栽培管理まで、日頃の疑問点を解消します。初めての方からどなたでも参加できますので、ぜひ、JAグリーンみよし店までお越しくださいませ★

日時：令和7年2月1日（土）
午前10時30分～
場所：JAグリーンみよし
（三次市廻神町3370）
参加費：無料

★同日はしいたけの駒菌を特売で販売していますのでこの機会にお求めください

お問い合わせ先：Tel.0824-66-2323



農業情報番組のご案内



(株)三次ケーブルビジョンコミュニティチャンネル
農業情報番組ガイド 111ch
放送時間 7:00～7:15・12:00～12:15・19:40～19:55

放送日	内容	担当者
2月3日(月)～2月9日(日)	春まき野菜の播種・育苗・栽培管理について	原田
2月17日(月)～2月23日(日・祝)	小菊の挿し芽・定植・定植後の管理について	上田

※放送内容（予定）は変更になる場合もあります。

2月のお知らせ
カレンダー

2月22日(土)
ふれあい活動